

次世代施設園芸の取組拡大

【平成31年度予算概算決定額 2,330 (2,362) 百万円】

<対策のポイント>

施設園芸の生産性向上と規模拡大に必要な技術の実証・研修、次世代型大規模園芸施設の整備や次世代施設園芸拠点のノウハウの分析・情報発信等を支援します。

<政策目標>

次世代施設園芸の実践（施設作トマト1割以上で施設導入【平成37年度まで】）

<事業の内容>

1. 持続的生産強化対策事業のうち次世代施設園芸拡大支援

330 (362) 百万円

○ 施設園芸産地における生産性向上と規模拡大を加速化するため、

① 次世代施設園芸の技術習得

高度環境制御技術、雇用型の生産管理技術、省力化技術等について、産地の実情に合わせた実証や実証温室での研修受入れ等を支援します。

② 次世代施設園芸の地域展開

次世代施設園芸拠点のノウハウや施設の設置コスト低減方策を分析・整理した手引きの作成や全国フォーラムの開催等を支援します。

2. 強い農業・担い手づくり総合支援交付金（優先枠）

2,000 (2,000*) 百万円

○ 高度環境制御技術や地域エネルギー等を活用した次世代型大規模園芸施設や生産性向上と規模拡大の技術習得に必要な実証温室の整備について、優先枠を設定して積極的に支援します。

<事業イメージ>

次世代施設園芸の技術習得

高度環境制御技術

環境データの見える化・分析、
温室内の環境制御



雇用型生産管理技術

作業計画の立案と要員配置、
従業員育成



省力化技術

作業の自動化等により、少人数で大規模な面積を管理



○産地の中心的な農業者が行う技術実証（設備のリース導入）、実証温室における研修受入れ、技術指導やマニュアル作成等を支援。

コンソーシアムが
実証成果を普及

次世代施設園芸の地域展開

○次世代施設園芸拠点のノウハウや施設設置コスト低減方策の分析・整理等を支援



ノウハウを分析・整理



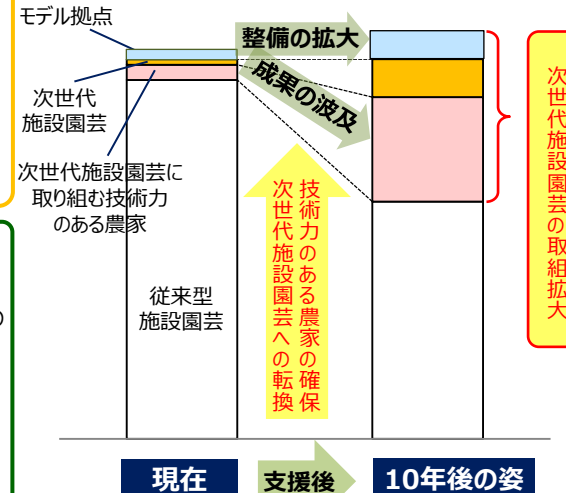
全国フォーラムの開催

強い農業づくり総合対策支援

○次世代型大規模園芸施設や実証温室の整備を支援（次世代施設園芸優先枠）



取組拡大のイメージ

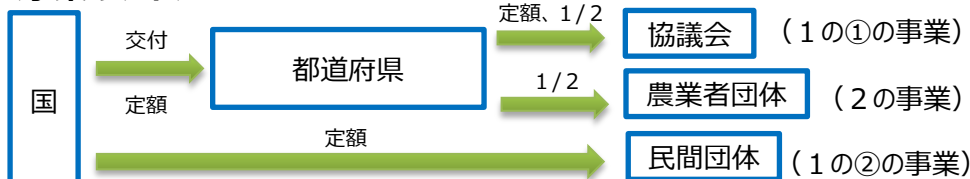


次世代施設園芸の取組拡大

現在 支援後 10年後の姿

【お問い合わせ先】生産局園芸作物課（03-3593-6496）

<事業の流れ>



注：*は、強い農業づくり交付金における30年度の優先枠